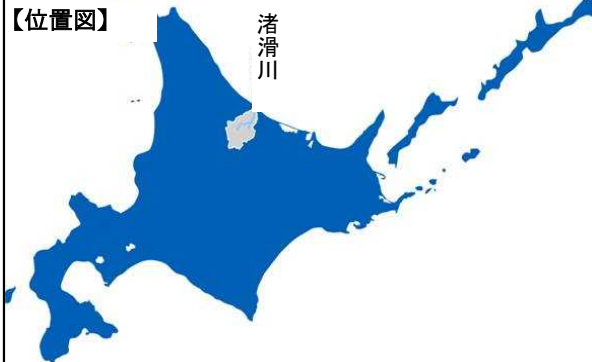


# 渚滑川水系流域治水プロジェクト（素案）

～我が国を代表する乳製品の生産を支える地域の暮らしを守る治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、渚滑川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成10年9月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



平成10年9月台風  
被害家屋197戸、氾濫面積310ha



■河川における対策  
国の対策内容 河道掘削 等

※今後、関係機関と連携し、道管理区間の河川改修を追加予定

■流域における対策のイメージ

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策のイメージ

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

浸水範囲(平成10年9月洪水実績(台風5号))

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。